



脱炭素社会に向け 真庭の未来を考えよう

脱炭素社会に向けた市民会議@真庭市

第2回 2022年9月28日(水)

本日の流れ

前回の振り返り	10分
未来を考えると5分	
脱炭素政策検討アンケート結果	15分
脱炭素アクション in 真庭 ①	15分
（休憩）5分	
脱炭素アクション in 真庭 ②	15分
全体共有（各グループから）	20分
次回にむけて5分	

20時ごろには終了予定です

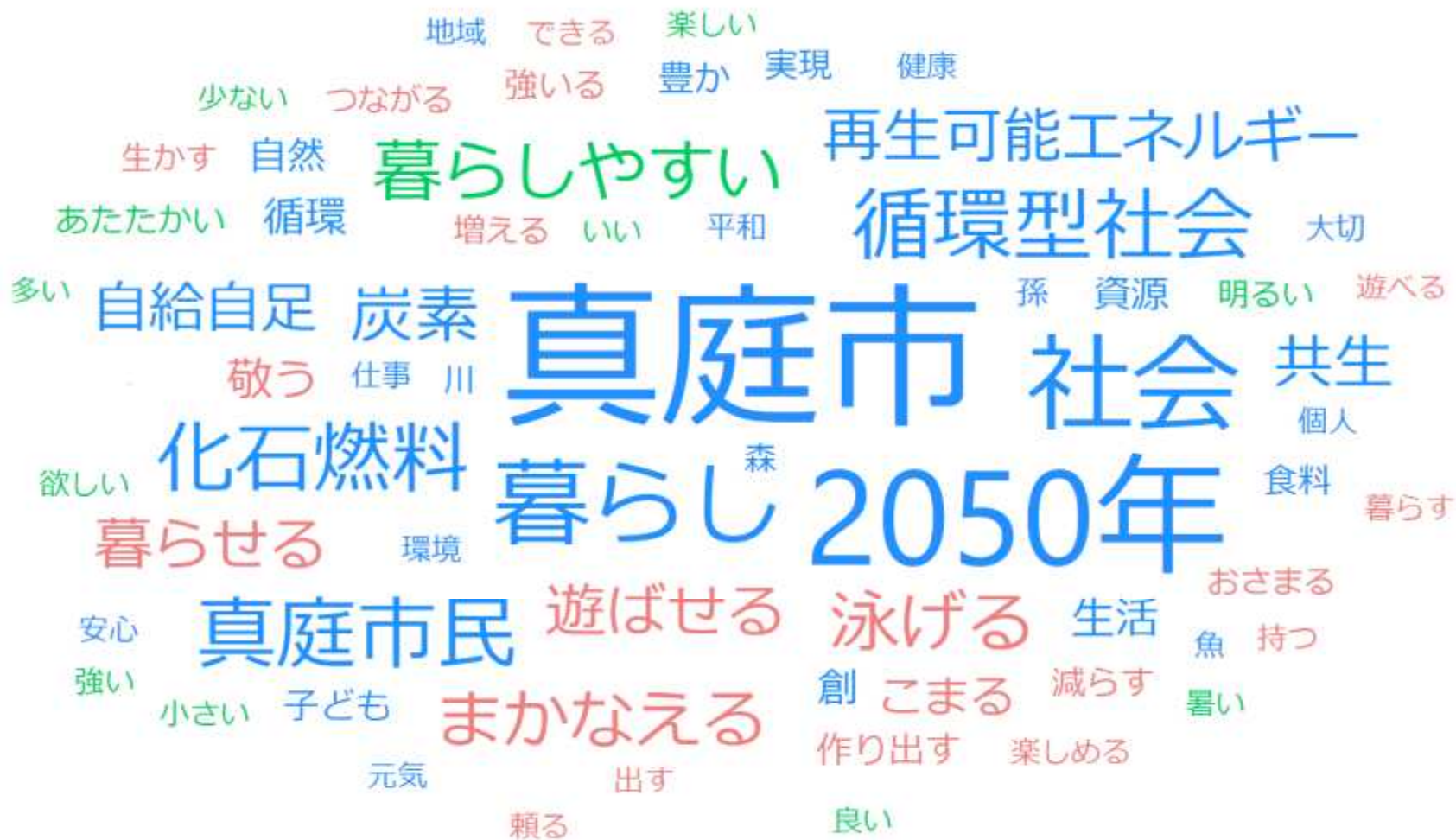
前回の振り返り

前回の会議では

- ① 顔合わせ
- ② 皆さんに脱炭素政策について知っていただく
(国、真庭市)
- ③ 「脱炭素」や「2050年の真庭市での暮らし」について
皆さんが現状お持ちのイメージや課題を共有して
いただく



皆さんから出た「真庭市での暮らし in 2050年」



スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。
単語の色は青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表しています

本日の会議では

- ✓ 前回の会議で挙げた「真庭市での暮らし in 2050年」と「脱炭素社会」のアクションを結びつけることを試みます
- ✓ 真庭市で実施した脱炭素政策に向けたアンケート調査の結果を共有します

未来を考えると？

社会的未来像の区別

はじめに & 結論

- 起こりそうな未来 (probable future)
- 実現可能な未来 (possible future)
- 望ましい未来 (preferable future)



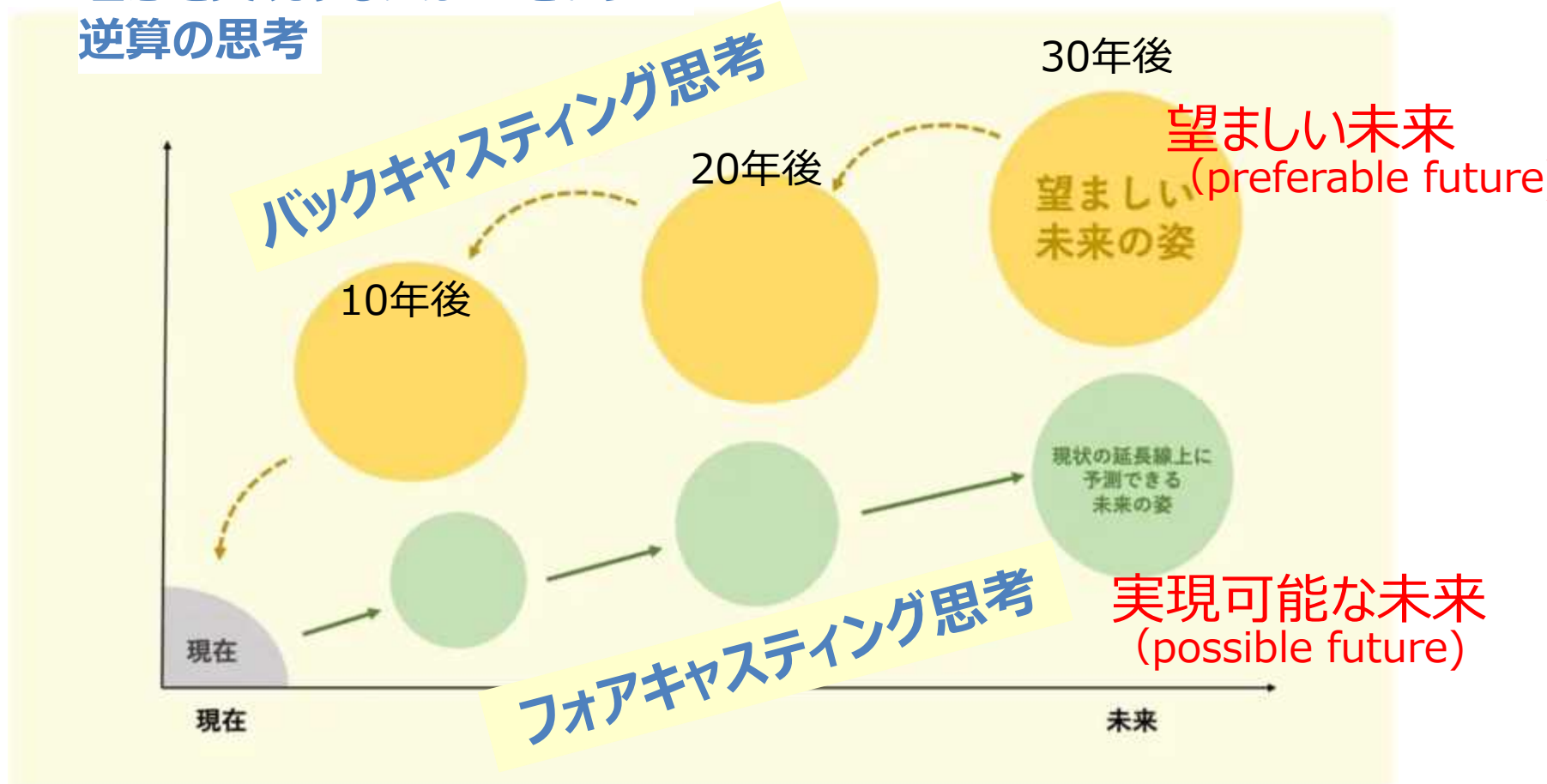
(ジョン・アーリー著『未来像』の未来—未来の予測と創造の社会学』作品社, 2019)

「…望ましい未来は、結局のところ最も起こりえないかもしれない。少なくとも、ある未来が望ましいとしても、それが必ずしも起こるとは言えない。…ある社会でそれが実現可能な未来のうち最も望ましいという広範な合意が得られたとしても、最適なものが実際に展開される保証はない。」(p26)

望ましい未来を起こりそうな未来にしていくにはどうすれば？

厄介な問題を超えるための社会的未来像づくり

理想を実現するには… という
逆算の思考



<https://data.wingarc.com/backcast-and-forecast-42493>から引用・加筆

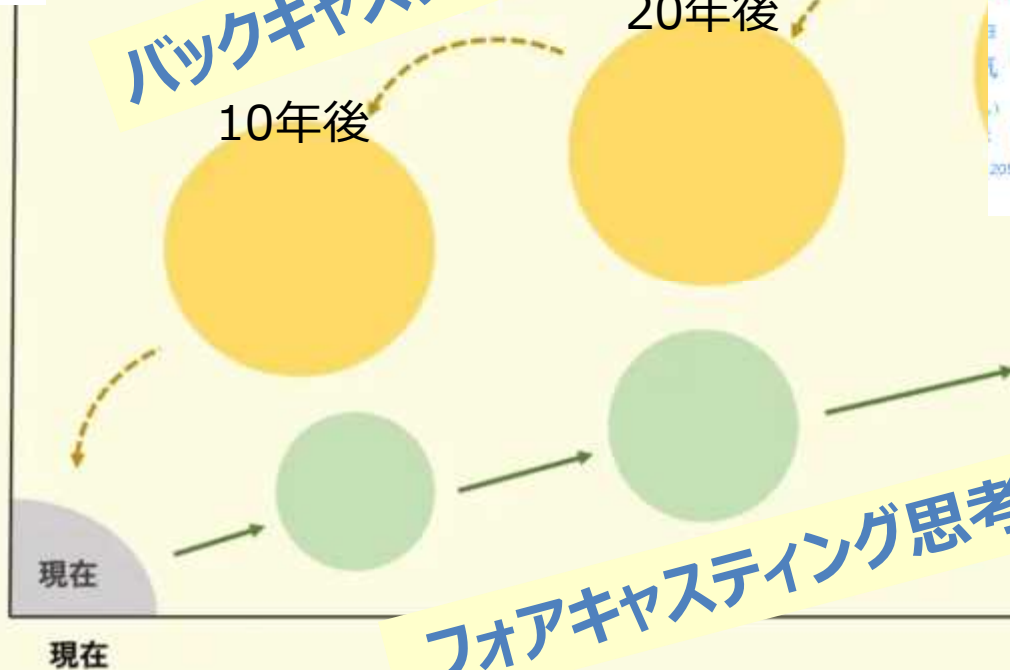
現在の科学技術や社会状況から演繹（積み上げ）し、実現する確率の高い未来を想定する方法
⇒ 予測、予報、見込み

厄介な問題を超えるための社会的未来像づくり

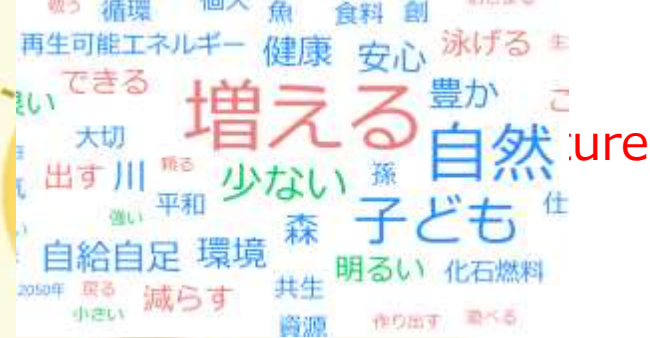
“特に技術的な未来像だけでなく、社会的な未来像にも焦点を据える場合、未来を考えることは、国家と市民社会を孤立無援の状態から戻す主要な方法になる…”(p.242)

理想を実現するには…という
逆算の思考

バックカスティング思考



30年後



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d7b6daf80b6587883aafe77bedc06f1eae051586>

<https://data.wingarc.com/backcast-and-forecast-42493>から引用・加筆

“未来世界は曖昧模糊としているかもしれないが、**参入し、問いただし、希望を抱いて作りかえなければならない。**” (p.242)

脱炭素社会実現に向けた 政策検討のためのアンケート調査結果

脱炭素アクション in 真庭 ①

「真庭市での暮らし in 2050年」のための アクションを考えよう(15分)

【進め方】

1. まずは自分自身が考える必要なアクションを付箋に書き出そう

2. 自己紹介を兼ねつつ、まずは自分が何を書いたかをシェアする

今日起きたのが一番遅かった人からスタート

3. それぞれの意見やイメージをグループとして整理
色分け、共通点／相違点、多い／少ない などなど。。

「真庭市での暮らし in 2050年」のための アクションを考えよう(15分)

【書き出し方】

青：必要だと思うアクション

黄：課題や懸念点

赤：質問

の付箋に書いてください

【共有するとき】

1. どんな意見でも／自分の意見と違っていてもすべて尊重する 「だ行」からの発言を避けるとよいかも
2. 人の意見を聞いているうちに思いついたこと、賛同することは追加して書いてよい(他の人が書いていないことを呟いているのに気がいたら「書いたら？」と提案するのもアリ)
3. 少ない意見をグループ内で排除しない。付箋は全部残す

脱炭素アクション in 真庭 ②

Google Environmental Insights Explorer

真庭の情報も公開されています



https://insights.sustainability.google/places/ChIJa_T09XqbVjURDpjuvMH_luos

「真庭市での暮らし in 2050年」のための アクションを考えよう(15分)

【進め方】

1. グループでまとめた案を「他の誰か」になりきってながめてみよう

【誰になるか】

自分のグループの中で自分とは違う属性の人

自分のグループの中にはいない地域の人

アンケートの結果で「ネガティブ意見」がある世代・地域の人

2. その際に、浮かぶ意見は？ 足りないところはないか？
3. 上記1、2を踏まえて、グループとしてアクションや議論を整理

「真庭市での暮らし in 2050年」のための アクションを考えよう(15分)

【書き出し方】

緑：必要だと思うアクション

紫：懸念・疑問 対象のアクションに重ねて置く

の付箋に書いてください

【共有するとき】

1. どんな意見でも／自分の意見と違っていてもすべて尊重する 「だ行」からの発言を避けるとよいかも
2. 人の意見を聞いているうちに思いついたこと、賛同することは追加して書いてよい(整理している中でグループとして新しいアクションに行きついたら緑で追加OK(でも紫も残す))
3. 少ない意見をグループ内で排除しない。付箋は全部残す

まとめ

グループワークの全体共有 (各グループ 2～3分)

- ① 「真庭市での暮らし in 2050年」のための「脱炭素社会」へのアクションとしてどのようなものが挙げられたか
- ② グループでのディスカッションについての共有
例えば…
整理の仕方
誰かになりきったときにどうだったか？

ナドナド

次回に向けて

10月27日(木) or 28日(金) 18:30~ @真庭市役所

次回では、
今日挙げがった「真庭市での暮らし in 2050年」のための
「脱炭素社会」へのアクションを土台に、真庭市としての脱炭素社会の将来像として検討したいシナリオを決定します

その過程で、様々な脱炭素アクションに対する情報提供を行います

全体の流れ（現時点での想定）

第2回：9月末ごろ
テーマ：脱炭素社会における自分の将来の生活像は？

第3回：秋ごろ
テーマ：脱炭素社会における真庭市の将来像は？①

第4回：冬ごろ
テーマ：脱炭素社会における真庭市の将来像は？②

第5回：冬ごろ
テーマ：真庭市への提言案をとりまとめ

※次回からマイボトルをご持参ください